分における人件費の上から介護報酬の地域区質問 町の介護事業所 報酬改定による地域差 運営が厳しいとの声を 乗せ割合が近隣より低 を調整するため地域区 人材確保が困難で 平成30年度介護

の町の介護施設の現状と今後の対策は 町長介護報酬の地域区分の

議員(自民新政会)

栄

山﨑

格差是正に向けて行動 いサービスを受けられく。町民が将来より良く受け入れていると聞 は多くの介護福祉施設利な条件である。町に我が町は変わらずに不分の見直しがあったが、 町長町に見を伺う。 設サ-あり、 策について、町長の所るよう現状と今後の対 があり他地域の方も多 3つの老人保健施設が 特別養護老人ホ 介護施設からは 約 7 0 町には、 ビスを受けてい 0名が施 4 つ の ムと

所とも連携して引き続向けて、町内介護事業期介護保険事業計画に 令和3年度からの第8 差解消を訴えてきた。 を受けている。私は、の課題であるとの要望介護人材の確保が喫緊 に介護の質を維持する大臣や局長、担当職員また、厚生労働省の副 を強く要望してきた。 町長就任以来、 き改善に向けた行動を 近隣との格差是正長就任以来、国に対

7

mper enegat temps temps care

町内の特別養護老人ホーム 備等をどのように進め上を図るための環境整サービス確保や質の向 施策の方向性を示すもない適切な支援を図る状況に応じた切れ目の 障がい 見を伺う。 障がい者や家族が望む のとしている。 の提供体制の確保等 児通所支援、 害福祉サ ているのか、 及び地域生活支援事業 計画」を策定した。

町は、

## 隆夫 議員 (公明党)

## い者 児 支援の

## 障が

原

# 環境整備等の充実を

第1期障害児福祉 第5期障害福祉計 のある方の生活 町は平成30年3 ・ビス、 障害者計 相談支援 障害 障 施している。また、を関係機関と連携-る方が、 を関係機関と連携し実労移行や就労継続支援 擁護センタ 生活が送れるよう権利 症高齢者や障がいのあ げるところである。 たな事業として、 諸施策の推進を図ってい 地域に沿った また、 を立ち上 認知 新 る講演会を実施する。る相談や専門医師によては、心理専門職によらに、発達障害につい どを行う予定である。 子のデジタル対応化な また、 今後も諸施策の推進を ってい

障害福祉案内冊

RHOREGOOD EDG

町長の所

6月に行われた「ふれあい運動会」(長岡コミュニティセンター)

「瑞穂町

業などの通所支援、就障害児等タイムケア事 ない支援実施に向け、町長 現在、切れ目の 切れ目の

きていると言われてい深刻かつ多様になって徒の心身の健康課題がしままままが

榎本

義輝

議員

(自民クラブ)

コミュニティ

バ

スの運行を

や低身長など発育等に いる。 護者からの情報も得て を実施するとともに保でなく各種健康診断等 る。学校では学習だけ 心 疾病、 瘦身

Ų

情は、

数多く

町の交通事 、の問題を

既に平成30年度、公共すべきと考えている。

公共

民間事業者など、

多く 議会

考える。

利用者、

町長

公共交通の在り方について

題のひとつである。まも地域格差は最重要課

コミュニティバスにと着手する。その際には、を終え、今年度検討に交通に関する意向調査

際、課題等 名簿を受け取り、そり 名簿を受け取り、そり 、ご指摘の会からは、署 、これが、

高齢化に伴い車ののひとつである。ま

抱えており、その中で

義子 議員(公明党) 児童・生徒が心身共に健康な

### 必要な支援や配慮を決定していく

生活を送るための取り組みを問う



教育相談室 (スカイホール横)

康状態については、学童・生徒の心と体の健教育長 在学中の児 教職員、 多様化・複雑化する児 生徒に対し、保護者や気がかりのある児童・ めの取り組みを問う。 康課題に対し、心身共 童・生徒の現代的な健 どのように情報を共有 援教育コーディネ 校の養護教諭や特別支 に健康な生活を送るた 対応しているのか 関係機関等と ġ 保護者に医療機関へのの疑いがある場合は、 病気や発達の遅れなどの支援を図っている。保護者や児童・生徒へ の確認を行っている。情報の共有・支援方法ラーなどが中心となり、ー、スクールカウンセ 受診や 定して 相談・検査を勧奨し 必要な支援や配慮を決 育相談室などと連携 あわせて、 教育相談室での 学校医や教 ている。

**11** ギカイのひろば Vol.221

ドの視点を入れて検討は、地域オーダーメイなる公共交通の在り方

町長

町が運行主体と

目すべきである。

町の対応は東京オリ・パ

パラ

都などと連携・協力

して成功に導きたい

町長

組織委員会や

ざす会」の活動にも着

る町民バスの実現をめ

を伺う。

また、

「誰でも乗れ

箱根ケ崎駅西口を出発した福祉バス

強く申し入れた。一町長 JRに再考

運

JRに再考を

用改善を求めてい

であると思うが、

所見

差の

と転換させ、

の是正に努めるべきと転換させ、地域格

れるコミュニティバス福祉バスをだれでも乗

こんな質問もありました

箱根ケ崎駅の駅員不

在時間帯への対応は

急に現在運行している

いる。

そうした中、

早

深刻な問題も増大して 運転もままならない等

通手段を選択肢としてどまらず、あらゆる交

た。際、